

令和7年 第1回選挙管理委員会会議録（要旨）

日 時 一 令和7年1月28日（火） 午後2時00分～午後2時30分
場 所 一 高層館12階 選挙管理委員室
出席者 一 （委 員）中井委員長、星原委員長代理、松井委員、山口委員
（事務局）小須田事務局長、新家事務局次長、花岡主幹、赤田係長、清瀬
係長、菊川副主査

（中井委員長）

ただいまより、第1回選挙管理委員会を開催いたします。
今日の案件は2つあります。案件1は、堺区及び中区選挙管理委員会委員の異動についての報告です。案件2は、その他となっております。
それでは、案件1の報告をお願いします。

（新家事務局次長）

1ページをご覧ください。1月17日付で、堺区選挙管理委員会委員長から通知をいただきました。堺区選挙管理委員会委員の井戸委員が亡くなられたため、新たな委員を補欠した、という旨の通知でございます。

2ページをご覧ください。井戸委員の所属政党が立憲民主党でございまして、他3名の委員と同じ党派の補充員は就任することができないため、順位は4番ですが、無所属の三窪委員が新たに就任されました。

3ページをご覧ください。本日付で、中区選挙管理委員会委員長から通知をいただきました。中区選挙管理委員会委員の丸井委員が一身上の都合により、委員を辞職されたため、新たな委員を補欠した、という旨の通知でございます。

4ページをご覧ください。丸井委員の所属政党が日本共産党でございまして、同じ党派である中澤委員が新たに就任されました。

報告は以上です。

（中井委員長）

ただいま、2名の委員のそれぞれのご事情による辞職と補欠についての報告をいただきましたが、質問はございませんか。

（星原委員長代理）

堺区について、所属政党又は団体が日本維新の会の委員と大阪維新の会の補充員がありますが、それぞれで代表が出ているのですか。

(新家事務局次長)

議会で選挙管理委員が選出された際の確認の仕方がこのようになっております。国政政党である日本維新の会と政治団体である大阪維新の会の両方を出すことは可能ですが、同じ主義主張を唱えられているため、大阪府選挙管理委員会の取扱いに倣って同一の所属政党又は団体として考えています。

(中井委員長)

他に質問はございませんか。

(委員)

なし。

(中井委員長)

それでは案件 1 の報告については了といたします。

次に、案件 2 のその他案件について何かございますか。

(花岡主幹)

四條畷市の電子投票について報告させていただきます。お手元の A4 の資料と A3 の新聞の切り抜き記事をご覧ください。

8 月の定例会で、四條畷市長選挙で取り組まれる電子投票の概要についてご報告させていただきましたが、本日は、昨年 12 月 22 日執行の四條畷市の選挙結果の概要と、電子投票に関する情報を新聞報道等から収集し、整理いたしましたので、ご報告いたします。

なお、参考として令和 5 年執行の堺市長選挙におけるデータも A4 の資料右側に記載しております。

令和 6 年 12 月 22 日に、市長選挙と市議会議員補欠選挙が行われ、電子投票が導入されました。電子投票については、大阪府内では初、全国では 8 年ぶりとなりました。

有権者数は 44,901 人、投票率はご覧のとおりで、前回よりやや下回っている状況です。無効票について、電子投票による無効票は 0 でしたが、不在者投票につきましては、従来どおりの紙による投票のため、無効票が出ております。

電子投票の操作を途中でやめた人は、市長選挙においては 211 人、市議会議員補欠選挙においては、859 人という結果となりました。こちらの人数の詳細ですが、電子投票のパネルには、候補者を選択する画面に、「投票せず終了」という項目も選択することができまして、投票に来たけれども投票したい候補がいなかった人数になります。

そのほか、投票所数、期日前投票所、開票所の数は記載のとおりです。

なお、電子投票の導入の結果、開票所につきましては、投票用紙を分けるための広いスペースが必要なくなったため、これまでの 4 分の 1 のスペースで作業を行うことができるよ

うになったとのことです。

次に資料下段、「コスト比較等」についてです。費用につきましては、前回 1,660 万円に對して、今回は約 4500 万円との情報でした。主に、タブレット端末 204 台分のレンタル代と USB 購入費とされています。USB は、各電子投票を行う端末に接続されるもので、集計結果が直接 USB に記録される仕組みになっております。開票時には、市職員と立会人が鍵付きケースに USB を入れて開票所に運び、この USB を集計用の 4 台のパソコンに 1 本ずつ差し込んで、データを読み取り、集計を行ったとのことです。本市では投票箱を開票所に運ぶところを、USB を運んで開票所で集計するという流れになっております。

次に職員数です。投票所につきましては、前回約 78 人に対して、今回は、約 117 人でした。電子投票において、二重投票を防ぐため、投票を終えると、画面にロックがかかり、次の方が投票する際、職員がその都度パスワードを入力して解除するため増員となったとのことでした。

一方で、開票所におきましては、従来の 3 分の 1 の人数、前回約 90 人に対して、今回は約 30 人でした。

最後に、開票時間は、前回と同様 1 時間 40 分でした。これについては、「データの読み込みはスムーズにできたが、誤りはないか慎重に対応したことと、立会人への説明を丁寧に行った結果」としており、投開票でのトラブルはなかったということでした。

報告は以上です。

(中井委員長)

ただいま、その他案件の中で、四條畷市の選挙のまとめの報告をいただきましたが、このことについての質問はございませんか。

(山口委員)

タブレット端末のレンタル代と USB 購入費で 3000 万円くらいかかるということですか。

(花岡主幹)

主な費用はタブレット端末のレンタル代と USB 購入費と伺っております。

(星原委員長代理)

開票所の職員は 3 分の 1 になり人件費も減っているでしょうから、その分も上乗せされていますよね。

(花岡主幹)

はい。投票所の職員は増えていますが、全体の人数は減っています。
端末代のコストがかなりかかっているようとして、補正予算では約 3900 万円となってお

りましたが、さらに上乗せしておりますので、想定よりも費用がかかったと思われます。

(山口委員)

本市で行うとすると、もっと費用がかかりますね。

(花岡主幹)

今回の選挙が、電子投票導入前よりも約3倍近いコストのため、単純計算すれば、多くの費用がかかると思われます。

(星原委員長代理)

市議会議員補欠選挙と市長選挙は何名ずつ立候補していましたか。

(花岡主幹)

どちらも2名です。

(星原委員長代理)

そのくらいだからできるのですね。

堺市の場合は府も同じなので、府知事、府議会議員、市長、市議会議員と4つになった場合、難しいですね。

(花岡主幹)

はい。また、府でも電子投票を実施していかないと、電子投票と紙投票が混在してしまいます。

(星原委員長代理)

本市だけというわけにもいきませんからね。

(中井委員長)

これは新しい投票の手段として出てきていますので、今回は四條畷市の選挙を例として報告いただきましたが、他の自治体でもこのような方法での投票がありましたら、その都度情報は収集しておいてください。

市議会でも議題に上がる可能性は十分にあります。そのときに選挙管理委員会事務局として説明できるようにしておいてください。

他に質問はございませんか。

(委員)

なし。

(中井委員長)

では、これをもちまして、第1回選挙管理委員会を閉会いたします。